

令和4年度外部評価 事業評価シート

No	10	事業名	生涯学習情報提供事業
所属	生涯学習課生涯学習係		事業開始年度 H17
事業内容	生涯学習情報誌「あんでな」を年4回作成し、概要版は市内全戸配布、冊子版は公共施設で配布します。		
目的	いつでも、どこでも学習情報の入手ができ、個人のニーズに沿った学習活動に参加できるようにするため。		
根拠法令等	なし		
総合計画	5Kの分類:さずな(14生涯学習 市民の主体的な学びを支える環境づくり)		
関連するSDGsゴール	4質の高い教育をみんなに 5ジェンダー平等を実現しよう 17パートナーシップで目標を達成しよう		
関連事業	公民館講座事業、公民館地域ふれあい事業		

【実施状況】

活動実績		いつでも、どこでも学習情報の入手ができ、個人のニーズに沿った学習活動に参加できるようにするため、生涯学習情報誌「あんでな」を年4回発行しました。 ・概要版は広報に折り込みし、市内全戸配布 ・冊子版は市内公共施設で配布 ・生涯学習情報誌はホームページ上でも閲覧可能 ・作成したアプリを活用しての情報発信 委託料 5,786千円
	令和3年度	参考 1 冊子版発行部数 令和元年度 75,300部(1回) 令和2年度 2,000部(1回) 令和3年度 1,500部(1回) 令和4年度 1,500部(1回) 2 冊子版を配布している公共施設数 31施設 ※公民館講座の電子申請は令和2年度から
	令和2年度	いつでも、どこでも学習情報の入手ができ、個人のニーズに沿った学習活動に参加できるようにするため、生涯学習情報誌「あんでな」を年4回発行しました。 委託料 5,566千円
	令和元年度	いつでも、どこでも学習情報の入手ができ、個人のニーズに沿った学習活動に参加できるようにするため、生涯学習情報誌「あんでな」を年4回発行しました。 委託料 7,129千円
改善取組 (これまでの改善内容)	令和2年度から、冊子版の全戸配布を取りやめ、広報折込の概要版(A3両面印刷)を市内全戸配布としました。また、アプリ運用を開始し、情報配信に努めました。	

別紙2

【事業費】

年間事業費等の推移	No	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	①	事業費(決算額) (千円)	7,129	5,566	5,786
	事業費内訳	委託料	7,129	5,566	5,786
	②	人件費(従事職員数×6,300千円 令和3年度からは6,600千円) 従事職員数 (人)	4,095	4,095	4,290
財源内訳	③	総事業費(①+②) (千円)	11,224	9,661	10,076
	財源内訳	一般財源 (千円)	10,709	9,661	10,076
		特定財源(など) (千円)	515		
		財源合計 (千円)	11,224	9,661	10,076

【活動指標】

生涯学習情報誌「あんでな」発行回数	令和3年度 (実績)	令和4年度 (目標)	令和5年度 (目標)
	4回	4回	4回

【成果指標】

ホームページ閲覧数	令和3年度 (実績)	令和4年度 (目標)	令和5年度 (目標)
	42,526回	46,700回	51,300回

【課題】

課題	活動実績・事業成果等を踏まえて記入
	令和元年度までは、市内全戸に冊子版を年4回配布をしていましたが、行政連絡員制度の廃止に伴い、広報誌同様に市内全戸配布をすると多額の追加費用が発生するため、新たに概要版を作成し、広報折込で市内全戸配布としました。概要版ではQRコードを多く利用し、市ホームページ閲覧へと誘導すること、冊子版については公共施設で配布することにより、情報提供に努めました。また新たに生涯学習情報アプリの運用を開始し、プッシュ通知を利用するなど、より効果的な情報発信を行っています。 冊子版については一定数の需要があるものの、講座受講者のアンケートでは概要版から情報を得たとの回答もあり、本市のDX化を推進するためにも将来的には生涯学習情報についてはホームページを中心とした情報提供が望ましいのではないかと考えています。

【論点】

外部評価での論点	紙媒体としての配布物としては、市内全戸配布している概要版が浸透しており、市内公共施設に配置する冊子版からの情報取得については少なくなっていると考えられます。また、電子申請を利用した講座申込が増えており、スマートフォン、パソコンなどのデジタル媒体の活用が増えていることも考えられます。現状の講座申込状況などを考慮すると、ホームページでの情報提供のみに切り替えても良いタイミングなのではないかと考えています。
----------	--

令和4年度外部評価 事業評価シート

【参考比較】

経年の状況等	「あんてな」配付の経年の状況 それまで発行していた生涯学習ガイドブック、その他情報誌を統合 平成19年 「あんてな」配布開始(全戸配布) 平成26年 ARアプリ開始 令和元年 冊子版の全戸配布終了 令和2年 概要版の全戸配布(広報折込)、冊子版の公民館での配布開始 あんてなアプリ提供開始 受講申込の電子申請開始
--------	--

他市の 実施状況等	市民への情報提供方法 岡崎市 広報誌で春・夏・秋・冬講座全般のお知らせ ※1講座ずつの情報については、ホームページへ誘導 西尾市 広報誌に年4回生涯学習講座ガイドブックを折込 碧南市 広報誌に講座情報が決定次第、その都度掲載 豊田市 豊田市文化振興財団指定管理。各交流館ごとに地区住民に配布。 すべての情報をまとめた情報誌はない。 刈谷市 広報誌に定期講座(年4回)情報を掲載 ※1講座ずつの掲載 各市共通 ホームページに生涯学習講座情報掲載 地区公民館だより(町内会回覧)等で地区住民に情報提供 情報をまとめた冊子またはチラシを公共施設で配布
--------------	---